

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [Sherry 英語教室] 担当教諭名 [塩飽 隆子] (中学1-3年、高校1-2年 16名)

交流相手国 [パキスタン]

海外学校名 [Modernage Public School & College] 担当教諭名 [Mehreen Ansar]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	地球市民意識を育もう	22
	課外活動	想いを形にしよう	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	平和への祈り - 平和な社会で受け継がれる伝統的な祭り - Pray for Peace - Traditional festivals inherited in the peaceful societies -
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	伝統的な祭りは、生の喜び、感謝、祈りであり、平和な社会で受け継がれる。 世界が平和でありますように！ - 破壊から希望へ - その地域に守り継がれてきた伝統的な祭りは、自然が引き起こす災害や人が起こす戦争などの破壊を乗り越えて受け継がれた人々の希望である。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
相手から「祭り」をテーマにしたいと最初に提案があり、こちらから「平和」の議論をしたいと相手に投げかけ、それを融合した形でテーマ学習も壁画制作もできた。協働学習と壁画制作を通して、生徒たちが少し大人になったような気がする。	お互いに信頼の気持ちを持つことができた生徒たちが、どのようにして今後もつながりを継続していけるかが課題である。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>学習の最後に、アートマイルに取り組む前と後で、相手の国や世界に対してどう意識が変わったかというアンケートをとった。以下は生徒の回答の一部です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界にはテロや紛争、貧困に苦しんでいる国がたくさんあって、ずっと何か手助けになることはないかと考えていました。でも、フォーラムやテレビ会議を通して、パキスタンの相手から自国を愛している想いと、先入観にとらわれずに本当の私たちを見て欲しいという気持ちが伝わりました。自分自身の世界の見方が変わった気がします。 ・パキスタンは発展途上国で、イスラム教の国で、少し怖いという印象があったけれど、実際はすごく明るい人がたくさんいて、良いところがある素敵な国だと思うようになった。相手の人達は私以上に自分の国の未来のことを考えていてすごく尊敬できる。そんな人達をもっと良い環境で命の危険を感じることなく勉強できるようになればいいのにと考えた。 ・相手の国は現実にはたくさんの課題を抱えている。日本人は毎日をテロや戦争の不安と共に過ごしていないが、パキスタンは自分の国でも隣国でもテロ組織が存在して、実際にテロも起きている。僕たちはそんな環境にないからそのありがたさに気付けない。僕たちはこの交流を通してこのことを学ぶ機会を得る。これからもグローバル化が進んでいく中で、共通理解をしているか否かで相手への思いやり、気配りができるかが変わらと思う。 	<p>パキスタンの女子高生との協働学習で、生徒全員に、世界を見る目の変化、自分自身を見る意識の変化が見られた。アンケートの中にはこちらが感動するような心の変化を書いている生徒もいて、アートマイルをやって本当に良かったと思っている。</p> <p>今回は絵を描く前に世界に発信したいメッセージを言葉に明確にすることにこだわった。そのこだわりが、「破壊と平和」について相手と議論を深めることにつながり、壁画の構図や作品の出来に表れていると思う。少しレベルが高いかと思うくらいの設定をして、それでもやってくれると生徒を信じることが大事だということを学ばせてもらった。</p> <p>日本の生徒自身がパキスタンの生徒と心が通じ合い、信頼関係を持てるのはこれまで考えたこともなかったと思う。文化背景が全く異なる世界の人と理解し合うことができるということを経験した子どもたちは、きっと将来世界の人と信頼関係を築きながら、平和で持続可能な社会になるように一緒に仕事ができると思う。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
<p>出会い 自己紹介</p>	<p>8月 9月</p>	<p>夏休みに写真と自己紹介文を準備しておき、9月にパワーポイントで自己紹介プレゼンを作成してフォーラムにアップした。</p>	<p>夏休み中に自己紹介で使う写真を撮り、パワーポイントで自分らしい自己紹介を作成しようと意欲的に取り組んだ。相手もパワーポイントで自己紹介を作成してくれたのを見て、パキスタンに友達ができたと感じたようだ。</p>	<p>英語</p>
<p>共有 テーマ学習</p>	<p>9月 10月</p>	<p>テーマは「伝統的な祭り」と「平和」を合わせた。伝統的な祭りを調べてシェアした後、「自分の地域・国・世界は安全で平和だと思うか」という質問を両方に投げかけて意見交換をした。</p>	<p>相手から教えてもらったパキスタンの祭りは戦争のイメージとはかけ離れ、豊かな文化に満ちていて驚いていた。自分達の周りの安全・平和、世界の安全・平和について考え、率直な意見を交換した。生徒達はパキスタンの国と人に対するイメージがずいぶん変わったようだ。</p>	<p>英語</p>
<p>融合 想いを合わせた メッセージ 壁画デザイン</p>	<p>11月</p>	<p>テーマについて、自分たちの想いと相手の想いを合わせて、世界に発信するメッセージを作成した。</p>	<p>日本からメッセージを提案すると相手からもメッセージが返ってきた。お互いの気持ちが通じ合っているという感覚をパキスタンの生徒達と持っていることに喜びを感じているのが見て取れた。</p>	<p>英語</p>

創造 壁画制作	12月	絵に描くモチーフはみんなで案を出し、代表の生徒がそれをまとめて下絵を描き、色を塗る分担を相談して決めて全員で色塗りをした。	一人一人が自分の担当の部分に責任を持って取り組みながらも、全体の調和を考えて修正しながら色を塗っていた。自分たちの完成した絵にとっても満足そうだった。そして完成した絵を見たとき、感動が走った。自分たちの絵にこんなにも合わせてくれてすばらしく調和した絵、躍動感があってメッセージに溢れた絵に感動した。	課外活動
評価 振り返り 自己評価	3月	最後に学習全体を振り返るアンケートをとって自己評価をした。	「アートマイルでつく力」の項目でアンケートをとったところ、全ての項目で高い評価が得られた。最後にアートマイルをする前と後の意識の変化のアンケートをとった。生徒の意識の変化については前ページに記載している。	英語

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	全国各地の祭りを調べ、パワーポイントにまとめて相手に紹介した。あらためて調べてみると日本にはすばらしい祭りがたくさんあることが分かった。これまで地域の祭りには関心があったが日本中にすばらしい祭りがあることを知って日本の文化の奥深さを知った。
異文化の理解	A	5	相手がパキスタンの祭りをパワーポイントにまとめて教えてくれた。パキスタンにも年間を通して豊かな伝統文化があることを知ってパキスタンの印象が変わったようだ。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	フォーラムの書き込みとテレビ会議を通して英語で説明する力・コミュニケーション力がついた。テレビ会議は1回だったので、2回3回と繰り返すことでもう少し英語の対話力を伸ばしたかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	ネットで日本の祭りを調べ、フォーラムでできるだけ生徒自身が書き込みをしたことで情報発信力が向上した。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	5	双方向のやりとりを充実させることを意識してフォーラムを使うことで、相手との人間関係を深めることができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	調べ学習、メッセージ作成、壁画制作のどの場面でもクラス内で協力し、相手とも協働的に活動を進めることができた。
学習を追究する意欲	A	5	学習を追求するモチベーションは、こちらから情報を発信する毎に、また相手から発信がある毎に、伝えたい気持ち、知りたい気持ちが高まっていった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	A	5	英語の表現力が豊かになった。壁画も思いが伝わるように一生懸命取り組んでいた。相手も豊かな表現でパキスタンの様子を教えてくれ、すばらしい壁画を完成させてくれた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	5	最後に全体を振り返って自己評価を点数でつけた。5段階評価で、5が44%、4が50%、3が6%という高い結果が出た。記述調査でも心に残る学習だったことがよく分かった。